

# I 調査概要

---

---

---

## 1. 調査目的

---

---

本調査は、人権問題に係るより効果的な啓発活動や適切な施策の推進を図るため、県民各層に対して実施した。

---

---

## 2. 調査の概要

---

---

- (1) 調査地域：愛知県全域
- (2) 調査対象者：3,000人（愛知県内に居住する満20歳以上の人）
- (3) 抽出方法：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法
- (4) 調査期間：平成29年10月30日～11月30日
- (5) 調査方法：郵送調査法
- (6) 調査実施機関：株式会社東京商工リサーチ 名古屋支社
- (7) 回収結果

標本数	有効回収件数	有効回収率
3,000件	1,502件	50.1%

---

---

## 3. 報告書の見方

---

---

- (1) 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合の小数点第2位以下を四捨五入したものである。そのため、単一回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がある。このことは、本報告書内の読み取り文、グラフ、表においても反映している。
- (2) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の場合、回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、選択肢ごとの回答数の割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) 図表中の「N（number of cases）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表している。
- (4) 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。なお、基本属性別の図表中では性別以外の「不明・無回答」の数を除いた母数で集計している。
- (5) クロス表中において、項目ごとの第1位、及び第2位を「グレーの網掛け」で表している。
- (6) 掲載したグラフには、設問により前回（平成24年度）実施した調査の結果を示している。

## 4. 調査対象者抽出方法の概要

調査対象者の抽出方法の概要は以下のとおり。

### (1) 調査対象

愛知県内に居住する満20歳以上の方で、平成29年8月現在、各市区町村の住民基本台帳に登録されている県民を対象とした。

### (2) 抽出方法

#### ① 層化

愛知県の市町村を、国勢調査の地域区分に従って、次の4地域に分類した。

なお、名古屋市については、人口数を勘案して、独立した地域として分類した。

名古屋地域	名古屋市 千種区、東区、北区、西区、中村区、中区、昭和区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、南区、守山区、緑区、名東区、天白区
尾張地域	一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
西三河地域	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
東三河地域	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村

#### ② 標本分配

平成29年4月1日時点の「県及び市町村別男女別年齢別推計人口（愛知県）」及び「毎月1日現在の年齢別人口（名古屋市）」を推定母集団とし、その大きさにより標本数3,000件を比例分配した。なお、配分にあたっては県内全市町村での意識調査を行えるように、人口比率が最小の市町村においても標本数が20件となるようにし、全ての市町村において20の倍数で配分した。

#### ③ 抽出

調査対象者は、市町村ごとに抽出間隔を算出し、住民基本台帳から等間隔に下記の表のとおり、調査標本3,000件を抽出した。

#### ○ 市区町村毎の抽出人数

地域	20歳以上 人口比率	抽出数	地域	20歳以上 人口比率	抽出数	地域	20歳以上 人口比率	抽出数
名古屋地域	31.2%	880	江南市	1.3%	40	南知多町	0.3%	20
千種区	2.2%	60	小牧市	1.9%	60	美浜町	0.3%	20
東区	1.0%	40	稲沢市	1.8%	60	武豊町	0.6%	20
北区	2.3%	60	東海市	1.5%	40	西三河地域	21.1%	580
西区	2.0%	60	大府市	1.2%	40	岡崎市	5.1%	140
中村区	1.9%	60	知多市	1.1%	40	碧南市	1.0%	20
中区	1.2%	40	尾張旭市	1.1%	40	刈谷市	2.0%	60
昭和区	1.5%	40	岩倉市	0.6%	20	豊田市	5.6%	140
瑞穂区	1.5%	40	豊明市	0.9%	20	安城市	2.4%	80
熱田区	0.9%	20	日進市	1.1%	40	西尾市	2.2%	60
中川区	3.0%	80	愛西市	0.8%	20	知立市	0.9%	20
港区	2.0%	60	清須市	0.9%	20	高浜市	0.6%	20
南区	1.9%	60	北名古屋市	1.1%	40	みよし市	0.8%	20
守山区	2.3%	60	弥富市	0.6%	20	幸田町	0.5%	20
緑区	3.2%	80	あま市	1.2%	40	東三河地域	10.1%	340
名東区	2.2%	60	長久手市	0.7%	20	豊橋市	5.0%	120
天白区	2.2%	60	東郷町	0.6%	20	豊川市	2.4%	80
尾張地域	37.6%	1,200	豊山町	0.2%	20	蒲郡市	1.1%	40
一宮市	5.1%	140	大口町	0.3%	20	新城市	0.6%	20
瀬戸市	1.7%	60	扶桑町	0.5%	20	田原市	0.8%	20
半田市	1.6%	40	大治町	0.4%	20	設楽町	0.1%	20
春日井市	4.1%	100	蟹江町	0.5%	20	東栄町	0.0%	20
津島市	0.9%	20	飛島村	0.1%	20	豊根村	0.0%	20
犬山市	1.0%	20	阿久比町	0.4%	20	愛知県（合計）	100.0%	3,000
常滑市	0.7%	20	東浦町	0.7%	20			



## Ⅱ 回答者の属性

---

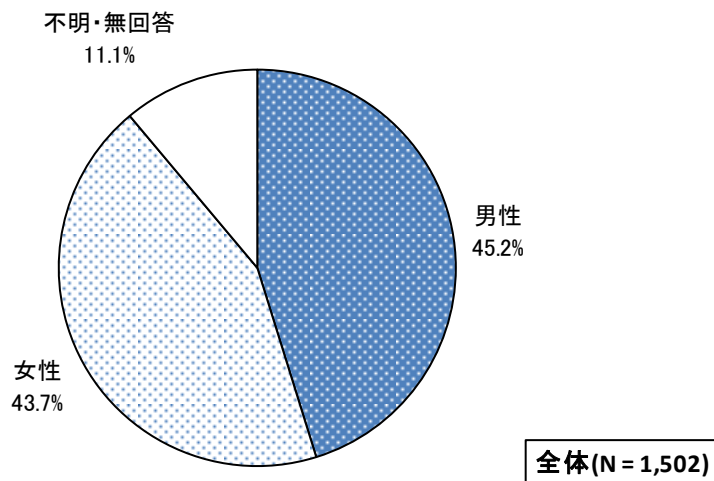
# 1. 回答者の属性

## 【問A】性別

### ■全体

性別は、「男性」が45.2%、「女性」が43.7%、「不明・無回答」が11.1%となっている。

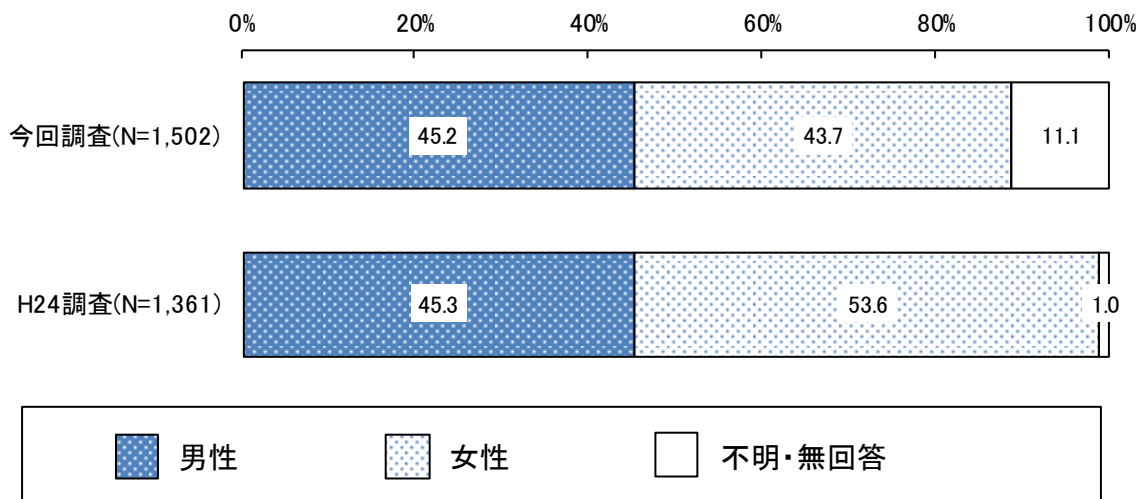
<記述式回答>



### ■経年比較

H24 調査と比較すると、「男性」の割合はほぼ同様となったものの、「女性」の割合が低くなり、「不明・無回答」が高くなっている。

※今回の調査では、性別の記入欄を選択式ではなく自由記載とした。

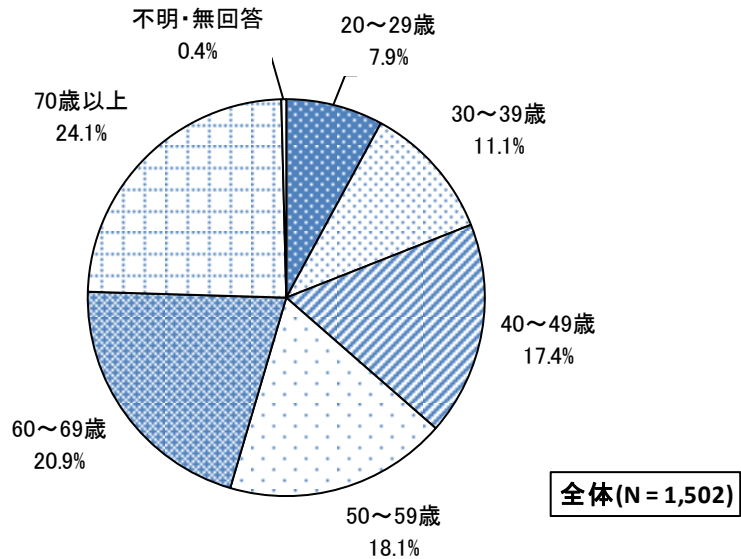


【問B】年齢（○は1つ）（平成29年10月1日時点）

■全体

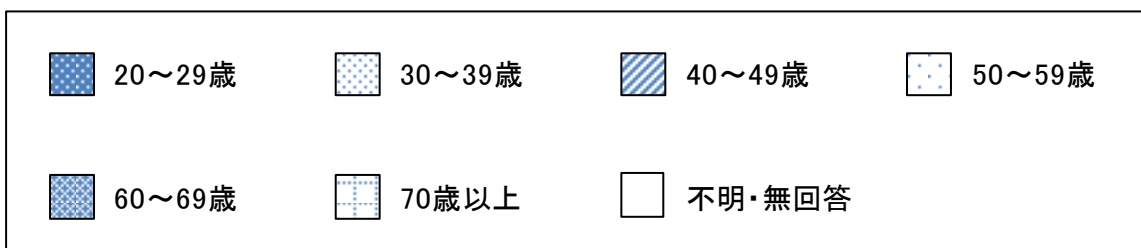
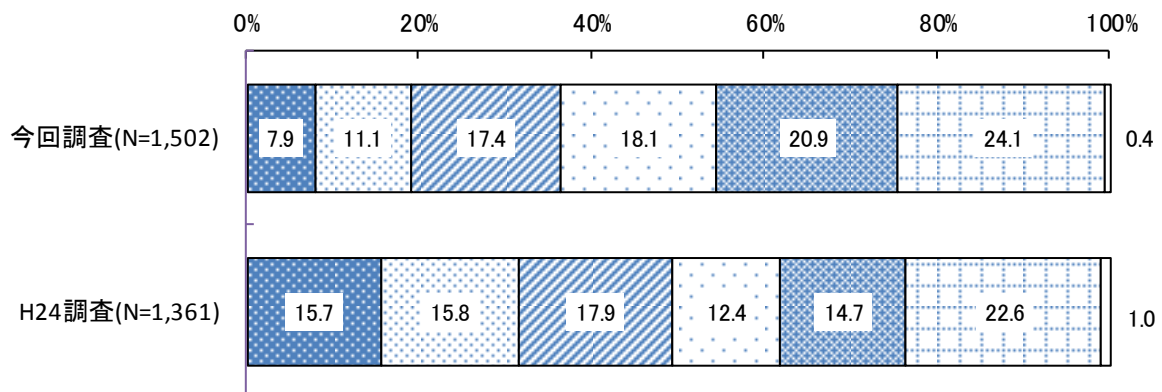
年齢は、「70歳以上」が24.1%と最も高く、次いで「60～69歳」が20.9%、「50～59歳」が18.1%となっている。

<単一回答>



■経年比較

H24調査と比較すると、「60～69歳」は6.2ポイント増、「50～59歳」は5.7ポイント増となっている。一方、「20～29歳」は7.8ポイント減、「30～39歳」は4.7ポイント減となっている。

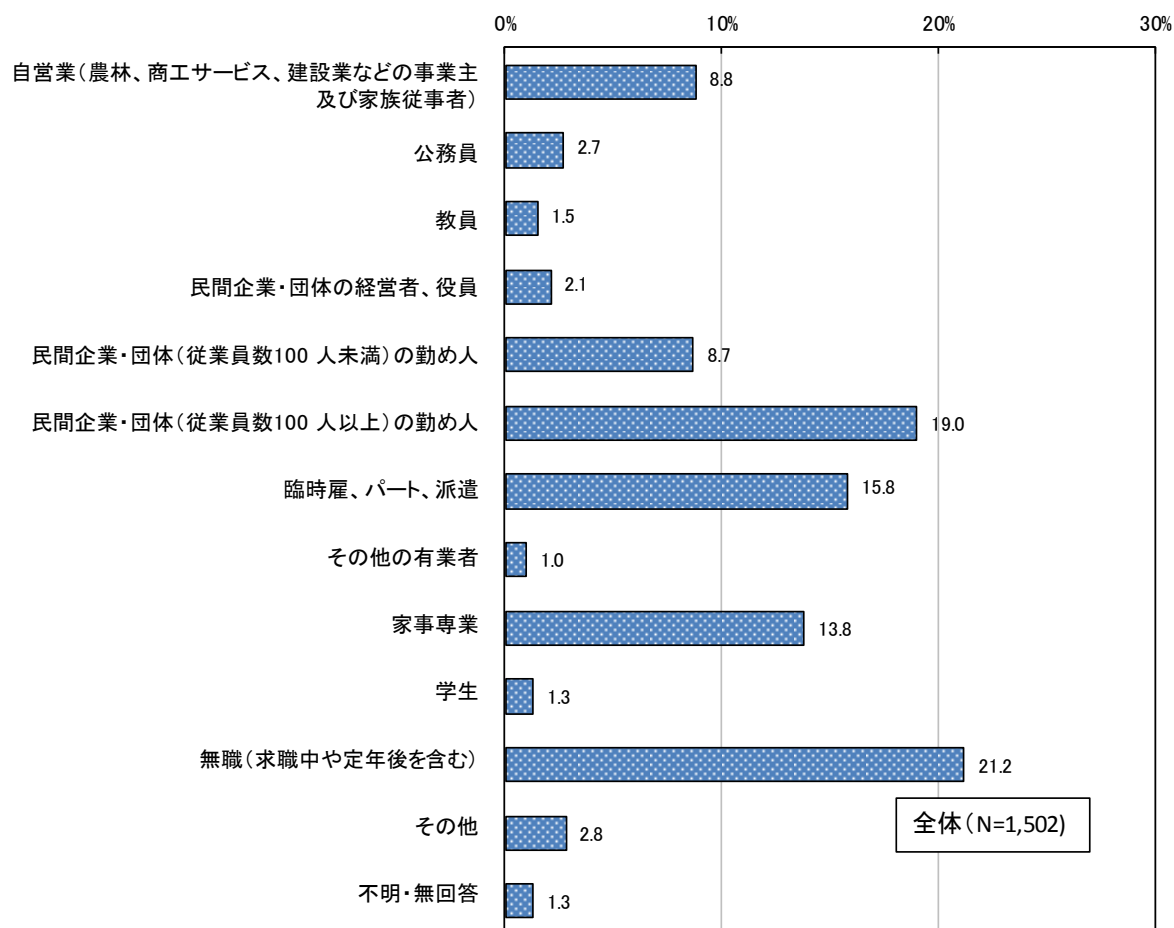


### 【問C】 現在のお仕事で、一番近いものを教えてください。(〇は1つ)

#### ■全体

職業は、「無職（求職中や定年後を含む）」が21.2%と最も高く、次いで「民間企業・団体（従業員数100人以上）の勤め人」が19.0%、「臨時雇、パート、派遣」が15.8%、「家事専業」が13.8%となっている。

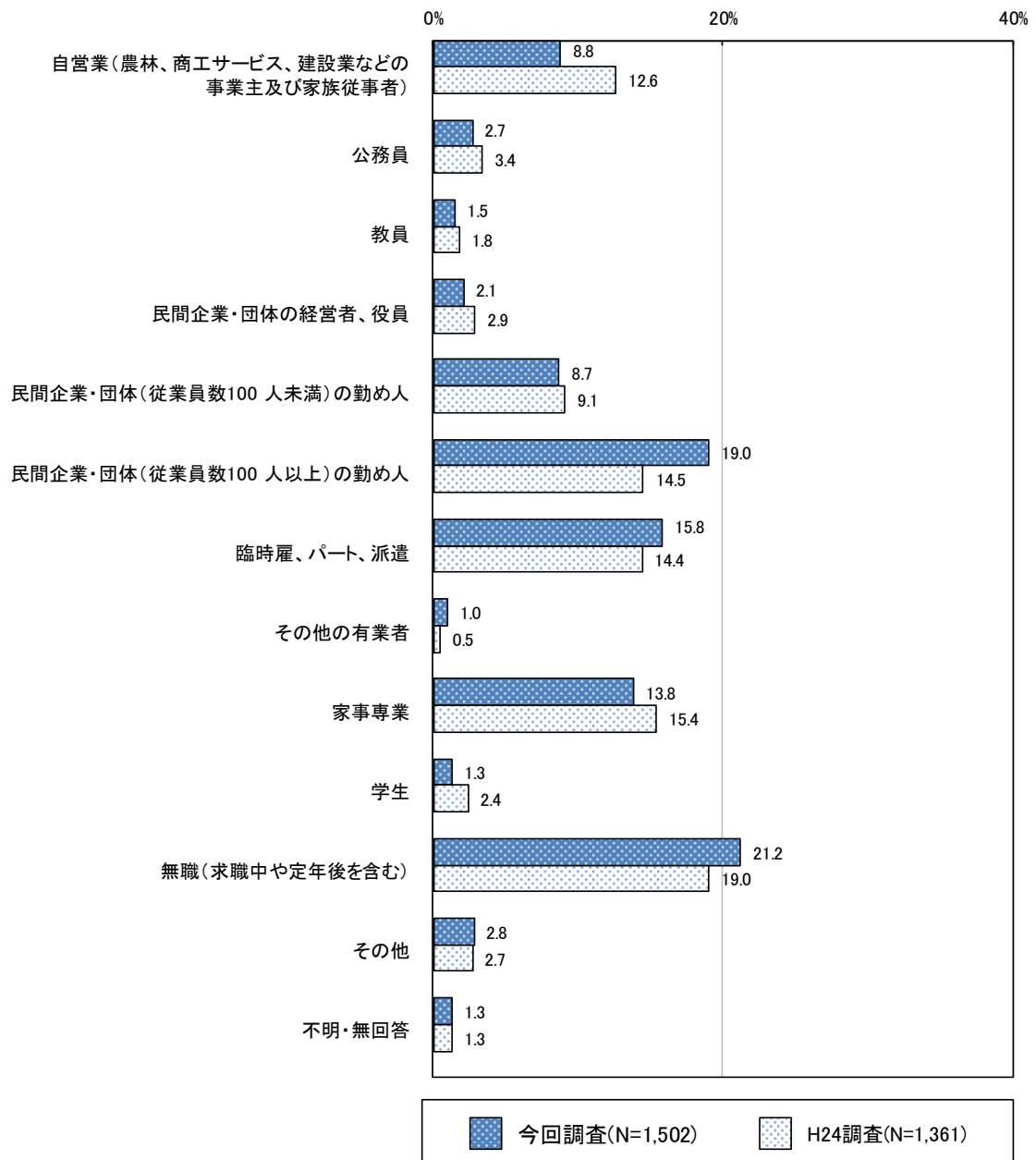
<単一回答>





## ■経年比較

H24 調査と比較すると、「民間企業・団体（従業員数100人以上）の勤め人」は4.5ポイント増、「無職（求職中や定年後を含む）」は2.2ポイント増となっている。一方、「自営業（農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者）」は3.8ポイント減となっている。

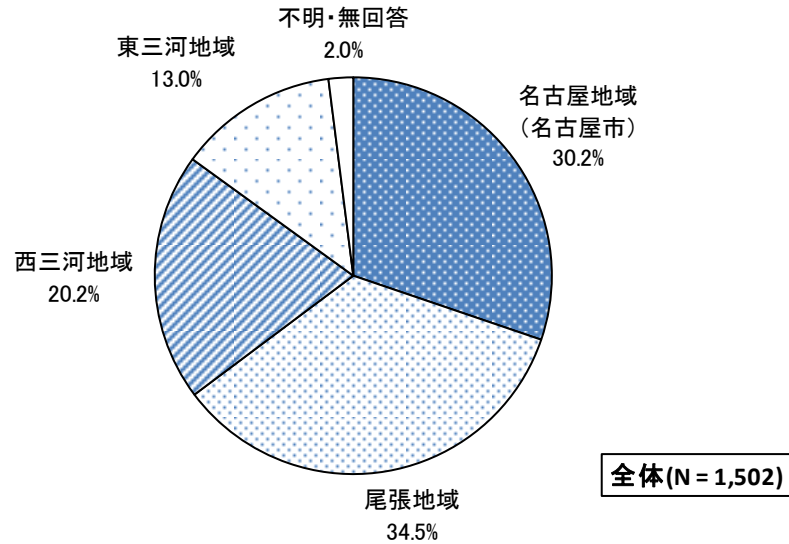


## 【問D】お住まいの地域（〇は1つ）

### ■全体

居住地区は、「尾張地域」が34.5%と最も高く、次いで「名古屋地域（名古屋市）」が30.2%、「西三河地域」が20.2%となっている。

<単一回答>



### ■経年比較

H24 調査と比較すると、「名古屋地域（名古屋市）」は2.6ポイント増、「尾張地域」は1.2ポイント減、「西三河地域」では1.6ポイント減となっている。

